

「うまいもの夏市 みやぎ三陸フリーウェイ2019」を開催

仙台市中心部でみやぎ三陸エリアの魅力を発信

7月2日から4日にかけて、仙台市青葉区にある東北電力グリーンプラザにおいて、地域振興イベント『うまいもの夏市 みやぎ三陸フリーウェイ2019』を開催しました。

東日本大震災からの復興道路として整備が進む「三陸沿岸道路(無料区間)」で結ばれた、東松島市・石巻市・女川町・登米市・南三陸町・気仙沼市の6市町が参加。2017年に始まったこのイベントは、地場産品や観光名所の紹介等を行い、仙台市や周辺にお住まいの方々に向けて各地の魅力を発信するものです。

会場には、宮城県や6市町、各市町の観光協会の協力により、海産物や菓子、地酒等の各地の名産品が約300品目並んだほか、観光名所や文化等をパネルやパンフレットで分かりやすく紹介・解説するコーナーを開設。さらに6市町のビデオメッセージを制作し、地域の良さをPRしました。



関係者によるテープカットで幕開け

会場内に設けられた「観光名所や文化等の紹介・解説コーナー」

初日のオープニングセレモニーで須田善明女川町長は、「三陸沿岸道路が気仙沼市までつながったことで、現地までの所要時間が短縮されました。沿道一帯の地域で、様々なおもてなしを用意し、多くの皆さまのお越しをお待ちしています」「このイベントはあくまで入口です。このイベントを通じて現地へ足を運び、思いっきり楽しんでいただきたい」と呼びかけました。テープカットには、各地のPRキャラクターが勢ぞろいして会場を盛り上げました。

会場内の特設ステージでは、登米市の「とよま山車まつり保存会」による「とよま木遣り(きやり)」が披露され、迫力ある生の囃子(はやし)が会場に大きく響きわたりました。



300年以上の歴史と伝統がある「とよま木遣り(きやり)」

各地の魅力を体感しようと開催期間中には多くの方が来場し、終日賑わいが途切れることはありませんでした。

来場者からは「楽しいイベントで各地を身近に感じられて良かった」「実際に現地に行ってみたいと思う」等の感想が寄せられ、イベントは盛況のうちに終了しました。

今後も東北電力では、地域振興や地域活性化の一助になる取り組みを進めてまいります。



会場は多数の来場者で賑わいました

おでかけ暦 8月 9月 10月 11月

※日時・会場等はすべて予定です。下記指定のお問い合わせ以外、詳細は各市町村にお問い合わせください。

女川町

みちのくプラスアンサンブル まちかどコンサート
日時:8月24日(土) 13:00、15:00
会場:シーパルピア北中庭

女川ストリート・ミュージックフェス 2019
日時:9月8日(日) 10:00~15:00
会場:シーパルピア女川 特設ステージ3ヶ所

おながわ秋刀魚収穫祭
日時:9月29日(日) 9:00~16:00予定
会場:女川駅前商業エリア

石巻市

石巻ふれあい朝市
日時:9月1日(日)、9月15日(日)、10月6日(日) 11月3日(日・祝)、11月17日(日) 6:30~各店舗売り切れ次第終了
会場:かわまち交通広場

ものうふれあい祭2019 はねこ踊りフェスティバルin桃生
日時:9月14日(土) 12:00~ (一部イベントは10:00~)
場所:石巻市桃生植立山公園

いしのまき大漁まつり
日時:10月13日(日) 9:00~15:00
場所:石巻市水産物地方卸売市場石巻売場

登米市

登米市長沼はすまつり
日時:8月1日(木)~8月31日(土) 9:00~16:00 ※最終日は12:00まで
会場:登米市迫町北方字兵糧120-1 (長沼温泉ヴィーナスの湯の南)

とよま秋まつり
日時:9月14日(土)・15日(日) 14日(土) 宵祭り14:00~ 15日(日) 本祭り10:00~
会場:登米町内

第15回登米市産業フェスティバル
日時:10月6日(日) 9:30~15:00
会場:迫中江中央公園・登米市迫体育館

涌谷町

わくや産業祭2019
日時:10月14日(月・祝) 10:00~15:00
会場:涌谷公民館前特設会場

第35回秋の山唄全国大会
日時:11月9日(土) 9:00~、10日(日) 9:30~
会場:涌谷町勤労福祉センター

わくわくマルシェvol.2 at涌谷公民館
日時:11月17日(日) 10:30~15:30
会場:涌谷公民館

東松島市

第97回東松島市鳴瀬流灯花火大会
日時:8月16日(金) 18:00~20:30
会場:鳴瀬川左岸鳴瀬大橋上流一帯

東松島夏まつり2019
日時:8月24日(土) 10:30~20:30
会場:東松島市商工会前~松岡生花店前
問:東松島夏まつり2019実行委員会 TEL:0225-82-2088

松島基地航空祭2019
日時:8月25日(日) 8:30~16:00
会場:航空自衛隊松島基地
問:航空自衛隊松島基地広報班 TEL:0225-82-2111(内線211)

南三陸町

大盆踊り大会
日時:8月14日(水) 17:00~20:00
会場:サンオーレそではま海水浴場 (南三陸町袖浜地内)

第93回かがり火まつり福興市
日時:8月24日(土) 15:00~20:30
会場:サンオーレそではま海水浴場 (南三陸町袖浜地内)

第94回たこまつり福興市
日時:9月29日(日) 9:00~13:30
会場:しおさい通り (南三陸町志津川南町付近)

原子力なるほどのクイズ

ご応募いただいた方の中から、抽選で**20名様**に、「石巻スモークたらこセット」を差し上げます。



女川1号機の廃止措置の工程は、何段階で実施する計画でしょうか?
クイズ ① 2段階 ② 3段階 ③ 4段階
※中面にヒントがあります。

応募方法

ハガキに、右記の必要事項をご記入の上、ご応募ください。

応募締切

2019年9月2日(月) 必着
※当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。
※クイズの応募ハガキで知り得たお客様の個人情報は当選者への商品の発送のみに使用します。また、いただいた意見については、今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。

62円 9180060005

仙台市青葉区 中央四丁目6番1号 東北電力宮城支店「原子力なるほどクイズ」係

①クイズの答え
②お名前(ふりがな)
③年齢
④性別
⑤職業
⑥郵便番号
⑦ご住所
⑧電話番号
⑨「東北電力からのお知らせ」に対するご感想
⑩東北電力に対するご意見、ご要望

より、そう、ちから。

東北電力からのお知らせ

本紙は女川原子力発電所が立地している女川町、石巻市と、隣接する登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町の皆さまに向けたコミュニケーション紙です。

女川原子力発電所1号機の廃止措置計画を申請しました 安全確保を最優先に取り組んでまいります



女川原子力発電所1号機は、当社初の原子力発電所として、1984年6月1日に営業運転を開始しました。以来、地域の皆さまのご理解をいただきながら、長きにわたり当社における電力の安定供給の一翼を担ってまいりましたが、2018年12月21日に運転を終了しました。

当社は、女川1号機の廃止措置にあたり、2019年7月26日に宮城県、女川町、石巻市へ安全協定に基づき、廃止措置計画認可申請*に関する事前協議の申入れを行い、同年7月29日に「廃止措置計画認可申請書」を原子力規制委員会へ提出しました。

今後、廃止措置計画の内容について、原子力規制委員会の審査に適切に対応していくとともに、安全確保を最優先に、廃止措置に取り組んでまいります。

※プラントの解体工事を行うためには、原子炉等規制法に基づき、施設の解体方法、核燃料物質の管理・譲り渡し、廃棄物の管理・廃止方法に関することなどについて記載した廃止措置計画を、あらかじめ原子力規制委員会に申請し、認可を受ける必要があります。

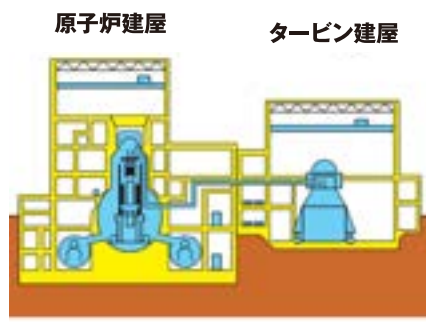
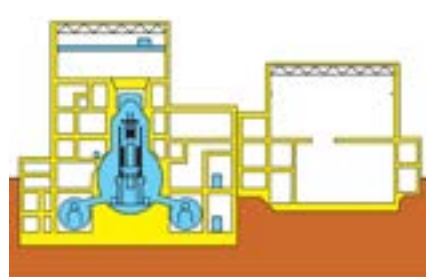
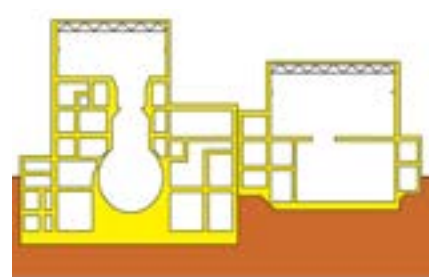
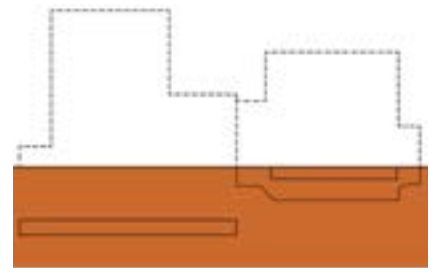
女川原子力発電所1号機の概要

【設備概要】	
所在地	宮城県牡鹿郡女川町塚浜字前田1
原子炉型式	沸騰水型原子炉(BWR)
原子炉格納容器	マークI型
発電機出力	52.4万kW
燃料集合体数	368体
【発電実績】	
総発電電力量	830億kWh ※1,2
設備利用率	67.4% ※3

※1 稼働実績がある2010年度末までの累計
※2 宮城県内の電力需要(2017年度実績:144.3億kWh)の約6年分に相当
※3 稼働実績がある2010年度末までの平均

女川原子力発電所1号機の廃止措置計画の概要について

廃止措置の全体工程 34年

各段階の実施区分	主な作業				
	1	2	3	4	5
第1段階 8年 (認可~2027年度) 	燃料搬出	汚染状況の調査	安全貯蔵	放射線管理区域外の設備の解体撤去	放射性廃棄物の処理処分
第2段階 7年 (~2034年度) 			放射線管理区域内の設備(原子炉領域以外)の解体撤去		
第3段階 9年 (~2043年度) 			原子炉領域の解体撤去		
第4段階 10年 (~2053年度) 			建屋等の解体撤去		

第2段階以降に実施する主な作業の詳細については、第1段階の中で実施する「汚染状況の調査」の結果等を踏まえて策定するとともに、あらためて廃止措置計画の変更認可申請を行うこととしています。

1 燃料搬出

- ◆ 1号機の使用済燃料プールに貯蔵している使用済燃料(821体)は、第2段階の開始までに3号機の使用済燃料プールへ搬出し貯蔵します。
- ◆ 上記の3号機の使用済燃料プールに移送した使用済燃料(821体)、すでに2号機および3号機の使用済燃料プールに貯蔵している1号機の使用済燃料(計161体)は、廃止措置が終了するまでに、再処理事業者へ譲り渡します。
- ◆ 新燃料(計41体)は、第2段階の開始までに加工施設へ全量搬出し、加工事業者へ譲り渡します。

使用済燃料および新燃料の貯蔵場所と数量

種類	貯蔵場所	数量
使用済燃料	1号機 使用済燃料プール	821体
	2号機 使用済燃料プール	95体
	3号機 使用済燃料プール	66体
新燃料	1号機 使用済燃料プール	40体
	1号機 新燃料貯蔵庫	1体

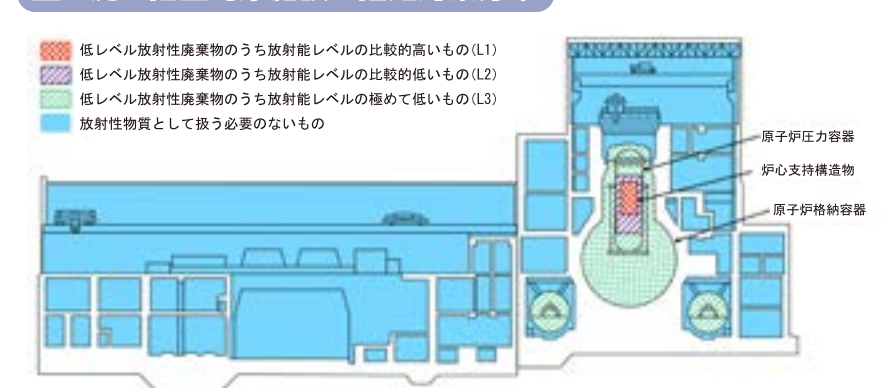
(2019年6月末現在)

2 汚染状況の調査

- ◆ 放射線業務従事者の放射線被ばく線量の低減を図るとともに、放射性廃棄物発生量を評価するため、放射性物質の分布や残存放射能等を評価し、除染範囲等を選定します。
- ◆ 放射線を解析により計算するとともに施設内の代表ポイントにおける測定を行います。



主な廃止措置対象施設の推定汚染分布



3 汚染の除去

- ◆ 放射線業務従事者の被ばく線量の低減のため、原子炉周辺の比較的多くの汚染が想定される機器や配管を対象に、機械や薬品を用いて放射性物質を除去します。また、除染は、作業員の被ばく低減に有効とされる範囲を選定して行います。

機械による除去(機械的除染)



薬品による除去(化学的除染)



【出典】公益財団法人原子力安全技術センターホームページを基に作成

4 放射線管理区域外の設備の解体撤去

- ◆ 安全確保の機能に影響を与えない範囲内で放射線管理区域外に設置されている設備・機器の解体撤去を行います。

解体撤去する設備の一例

主変圧器: 発電所で発電した電気を送電線に送るために電圧を上げる(昇圧する)ための装置

女川1号機に係る主な経緯

1970年 5月30日	女川原子力発電所設置許可申請
1970年12月10日	女川原子力発電所設置許可本格着工
1979年12月25日	女川1号機初臨界
1983年10月18日	女川1号機初併入
1983年11月18日	女川1号機営業運転開始
1984年 6月 1日	東北地方太平洋沖地震により運転停止
2011年 3月11日	女川1号機の廃止を決定
2018年10月25日	女川1号機の運転を終了(発電事業者変更届出書を経済産業大臣へ提出)
2018年12月21日	安全協定に基づき宮城県、女川町、石巻市に廃止措置計画認可申請に関する事前協議を申し入れ
2019年 7月26日	女川1号機の廃止措置計画認可申請書を原子力規制委員会に提出
2019年 7月29日	安全協定に基づき宮城県、女川町、石巻市に廃止措置計画認可申請に関する事前協議を申し入れ
2019年 7月29日	女川1号機の廃止措置計画認可申請書を原子力規制委員会に提出

廃止措置に関する費用

- ◆ 廃止措置に要する費用は、全額自己資金により賄います。
- ◆ 今後、原子力発電施設解体引当金制度による積立期間(廃止時点から10年間)において、総見積額の全額を積み立てる計画です。なお、原子力発電施設解体引当金は、2018年度末現在、約307億円を積立しています。

原子力発電施設の解体に要する総見積額

項目	見積額
施設解体費	約300億円
解体廃棄物処理処分費	約119億円
合計	約419億円

(2018年11月末現在)



5 放射性廃棄物の処理処分

- ◆ 女川1号機で発生する約30万トンの解体廃棄物のうち約94%(約284,000トン)は、放射性廃棄物ではなく一般産業廃棄物と同様に扱うことのできるものです。
- ◆ 廃止措置期間中に生じる放射性廃棄物は、以下のとおり処分します。

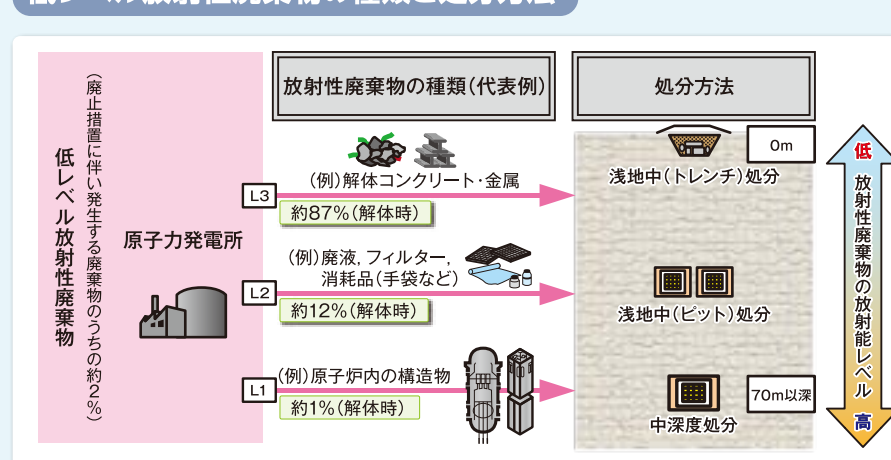
放射性気体廃棄物および放射性液体廃棄物

・原子炉運転中と同様に、廃棄物の種類、性状等に応じて処理を行います。

放射性固体廃棄物

- ・低レベル放射性廃棄物については、放射能のレベル区分や種類および性状などに応じて、廃止措置の終了までに廃棄事業者の廃棄施設に廃棄します。
- ・放射性物質として扱う必要のないもの(クリアランス)については、法律に定める所定の手続きおよび国の確認を経て、可能な限り再生利用に努めます。

低レベル放射性廃棄物の種類と処分方法



クリアランス制度

原子力発電所の運転や廃止措置に伴って発生する放射性廃棄物のうち、放射性物質の放射能濃度が低く、人の健康への影響がほとんどないものについて、国の認可・確認を得て、一般的な廃棄物として再利用または処分できる制度を「クリアランス制度」といいます。

女川1号機で廃止措置期間中に発生する放射性固体廃棄物の推定発生量

放射能レベル区分 ^{※1}		推定発生量 ^{※2}
放射線管理区域外に発生する放射性廃棄物	放射能レベルの比較的高いもの(L1)	約60トン
	放射能レベルの比較的低いもの(L2)	約740トン
	放射能レベルの極めて低いもの(L3)	約5,340トン
放射性物質として扱う必要のないもの(クリアランス)		約12,400トン
合計		約18,500トン

※1 放射能レベルの高低に応じた区分で、L1が最も高く、L3が最も低い。

※2 第1段階に実施する汚染状況の調査結果を踏まえ見直ししていく。また、端数処理のため合計値が一致しないことがある。

(資源エネルギー庁ホームページをもとに作成)